

【オプトアウト公開文書】

対象となる方

2013年4月1日～2023年3月31日までの期間にリハビリテーション西播磨病院に入院した、もしくは同院で診断を受けたMSA患者

研究名称

多系統萎縮症患者が症状進行によって必要となった看護と介護の実態調査

研究責任者

看護部 山本 洋史

研究の目的

多系統萎縮症（以下MSAと略す）患者は、パーキンソン病などと比べても、排泄や呼吸管理などの医療処置や看護、介護が症状進行とともに早期に必要とされる。国内で1万2千人程度の希少疾患ゆえに、発症年数からどのような対応が必要になるかの報告は少ない。近年難病患者にもアドバンスド・ケア・プランニング（以下ACPと略す）の重要性が散見されているが、MSA患者の今後の医療処置、看護、介護がどのように増えるか明らかになり、ケアの中心となる看護師が理解することで、より具体的なACPに繋げる。

利用するカルテ情報・試料

電子カルテから年齢・身長・体重、累計リハビリ入院日数、既往歴、サブタイプの種類、症状の自覚年月日、Mini-Mental State Examination（以下MMSEと略す）、看護・介護量に関しては入院1回につき1回の機能的自立度評価法（以下FIMと略す）を抽出し、看護記録から医療処置情報を収集する

研究実施期間

2025年10月7日 ~ 2025年12月31日

個人情報の取り扱い

データは個人が特定されないよう無記名とし、個人を特定する氏名、住所、電話番号等は収集しないよう、個人のプライバシーを保護する。

問い合わせ先

ご質問や同意された後に同意を撤回されたい場合には、遠慮なく下記問い合わせ先の担当者までご連絡ください。

兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 看護部

担当者 山本 洋史

[TEL:0791-58-1050\(代表\)](tel:0791-58-1050) FAX:0791-58-1071